



2021年11月号

## 検査室だより

秋の深まりとともにストーブが恋しくなってきました。朝晩と日中の温度差が大きくて体調を崩しやすい時期でもあります。たくさん食べて、しっかり寝てウイルスや病気と闘える身体づくりをしなくてはなりませんね。

ピンクリボン運動をご存知ですか。『受けよう乳がん検査 早期発見で笑顔の暮らし』を合言葉に啓発活動を行っています。乳がんは早期発見、早期治療で治るがんの一つです。きちんと検診を受けましょう。・・・「また乳がんの話かぁ。」と思っているその男性！乳がんは女性だけのがんではありません。男性にも乳腺があるので乳がんになります。女性は9人に1人に対して、男性は1000人に1人が乳がんになるといわれています。また、女性は50歳前後、男性は60歳代で発症のピークを迎えます。家族の中に乳がんになった人がいる（性別問わず）、肝臓に疾患がある、乳房や胸部に放射線療法を受けたことがあるなどが危険因子と考えられています。医師の診察でしこりの有無を調べた後に、マンモグラフィや超音波で確認します。これらの検査で異常を指摘された場合は、針で刺して組織を採取する生検組織診断を行います。治療に関しては基本的には女性と同じです。ただ困ったことに、男性乳がんは認知度が低いうえに恥ずかしくて病院になかなか行かないので、見つかった時には進行していることが多いのです。女性と同様、たまには胸を触ってみてしこりがないかチェックしてください。何か違和感があったら恥ずかしがらずに病院へ行きましょう。くどいようですが男性も乳がんになります！



新型コロナウイルス感染の新規感染者数が減少してきました。「友達とごはん食べに行っているの？」「飲みに行くのは？」「ライブもいいの？」「マスクとったらダメだよねえ」いままでガチガチに頑張ってきたのでどうしていいのかわかりません。コロナウイルスが撲滅することはないでしょうからうまく共存していく方法を探るしかなさそうです。あわてずボチボチ様子を見ながらいきましょう。

公衆保健協会 検査室

